

9階西病棟

診療科 血液内科、内分泌・糖尿病内科、消化器・代謝内科

病床数 51床

看護師数 看護師長1名、副看護師長3名、看護師25名

主な疾患

- ・悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、白血病、血友病など
- ・糖尿病、下垂体腫瘍、副腎腫瘍など
- ・食道がん、胃がん、大腸がん、肝細胞がん、膵腫瘍など

治療・検査

- ・化学療法、放射線療法、自家末梢血幹細胞移植、骨髄検査など
- ・糖尿病療養指導、ホルモン負荷試験、副腎サンプリングなど
- ・内視鏡治療、肝動脈化学塞栓療法など

看護の特徴

・化学療法による副作用症状の早期発見や骨髄抑制前には感染予防等についての指導を行っています。自家移植においては、自家末梢血幹細胞採取から前処置の大量抗がん剤投与、輸注の看護を行います。移植の一つでもある輸血療法を安全に確実に必要な患者さんへ投与しています。医師、看護師、臨床工学士が連携して行います。中国四国エイズブロック拠点病院として、HIVチームを中心に生活指導、抗HIV薬の服薬指導、心のケア等を行っています。また、薬害エイズ患者さんを対象とした検査入院も行っています。

・週に1回の内分泌スタッフカンファレンスでは、多職種で患者さんの生活背景や病状を踏まえた治療方針、指導内容について話し合いを行っています。糖尿病看護認定看護師をはじめ、糖尿病療養指導士が中心となって、疾患、合併症、治療、フットケア、シックデイ等の指導を実施し、セルフケア支援を行っています。

・消化器・代謝内科は主に肝臓、膵臓、消化管の3つの専門分野で構成されています。治療後の体調管理や生活指導を行っています。

